

磐梯山ジオパーク：教育への取り組み

教育こそが、磐梯山ジオパークにおいて推し進める中心的価値です。ジオパークのスタッフは、磐梯山ジオパーク内にある磐梯町、猪苗代町、北塩原町の小中学校と協働して、教室と現地の両方で行うプログラムを実施しています。生徒は、エクスカージョンと実践的な活動を通じて、この地域の地質、歴史、独特の生態系を学びます。

ジオパークの教育プログラムでは、防災についての意識や軽減技術に重点を置いており、火山である磐梯山が実在するケーススタディとなっています。1888年にこの火山が噴火したとき、猪苗代で86人の住民が泥流により亡くなりました。この壊滅的な出来事の後、生き残った住民たちで協力して、コミュニティを復興させました。現在では、ジオパークのスタッフが自然災害管理に関するトレーニングを若い世代に対して行っています。

ジオパークではまた、他県から訪れる学生グループのためのプログラムも提供されており、ジオパークのスタッフは大学レベルまたそれ以上のレベルでの研究プロジェクトの支援を行っています。さらに、ジオパークの認定を受けた現地ガイドである、独立した「ジオガイド」が、ここを訪れた人にこの地域の歴史、文化、野生生物についての教育を行っています。